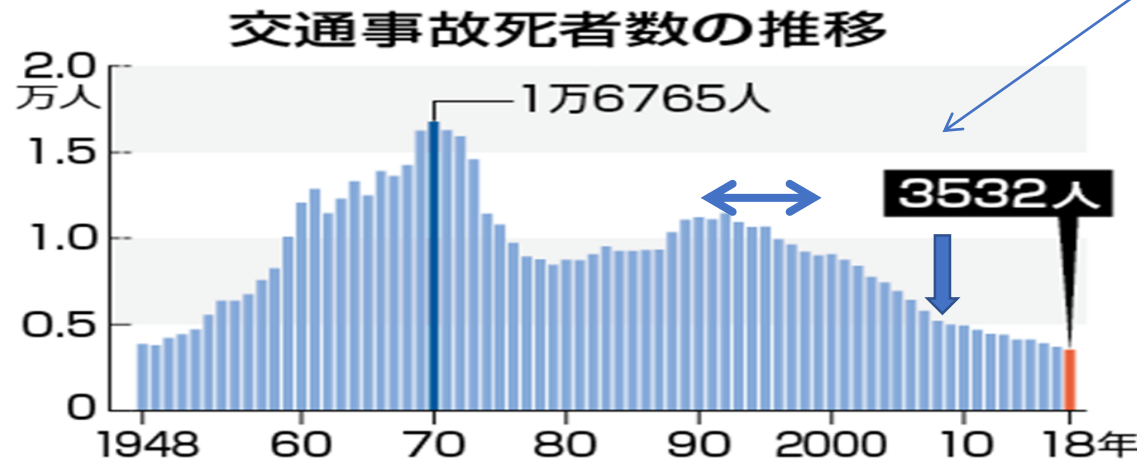


“高次脳機能障害”の歴史



医療技術の進歩で頭部外傷の治療成績は改善

何故高次脳機能障害という言葉が混乱を招いたのか

学問ではなく
社会的要請からできた用語

- 1990年代 頭部外傷や脳卒中の「軽度」後遺症で職場復帰できないことが社会問題に⇒**福祉の対象でない!**
- 1997年 当事者団体の設立
- 1999年 高次脳機能障害者実態調査(東京都) 身体障害? 精神亜障害? いずれとも言えない
- 2001年 NHK “高次脳機能障害” という用語 ⇒市民権
- 2001年 高次脳機能障害支援モデル事業(厚労省)
- 「高次脳機能障害診断基準」は、**行政的に**高次脳機能障害として支援する対象者を明確にして、医療・福祉サービスの体系を整備することを視点の中心に据えて作成
- 2006年 障害者自立支援法の都道府県地域生活支援事業の一環としての「高次脳機能障害支援普及事業を開始。都道府県に支援拠点機関を置き、高次脳機能障害者に対する専門的支援や地域支援のネットワーク形成、支援者養成などを行なう
- 2008年 奈良県高次脳機能障害者支援事業開始